

～ 日本最大級の無料チャリティーフェスCOMING KOBEプロジェクト ～

活動の様子



イベントの事前ミーティング



募金活動の様子



募金活動の様子

企画・活動概要

このプロジェクトは、「阪神淡路大震災を風化させず語り継ぎ、神戸からの恩返しとして被災地支援を行い、神戸の魅力を伝える事を最大のテーマとします。減災・防災・そして震災からひとりでも多くの方に“気づき”の“きっかけ”を作る。」ことが目的とされています。



プロジェクトの参加者

経緯・背景・目的

COMING KOBE は、2005年から毎年1回行われてきた「GOING KOBE(ゴーイングコウベ)」を2010年に改名しスタートしたチャリティー音楽イベントです。阪神・淡路大震災の復興支援に対する、被災地からの恩返しとして意味づけられていて、日本最大級の無料チャリティーフェスです。



盛りがるイベントの様子

取り組む課題

実際にイベント運営にかかわり、連携によるプロジェクトマネジメントへのグループワークとしての取り組みを通じて、チーム内でのコミュニケーション能力、多様性の理解、観光サービスの課題発見・対応力、マーケティング手法に基づく知識とスキルの活用力、ビジネスマナーの修得を目指します。



入場の様子

本学(学生)の役割

イベントの企画・運営



全員で募金の呼びかけをしている様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

募金活動プロジェクトを担当することにより、他の大学メンバーや組織と協力して目標を達成するための能力が養われた。社会や地域に対する責任感が高まり、自己の貢献が社会全体に及ぼす影響を実感できた。多忙なスケジュールの中で作業を計画し、効率的に時間を管理する能力を身につけることができた。



イベント開始前の打ち合わせの様子

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
観光学科
教授
西村典芳(ニシムラノリヨシ)
＜専門・担当科目等＞
観光学原論、テーマパーク経営、リゾート論、イベントプロデュース論

<関係者・企業等>

COMING KOBE実行委員会
委員長
上田 佑吏(ウエダ ユウリ)